

# 直方市とアクサ生命 「健康経営」で協定

## 優良法人認定拡大を目指し

直方市は、アクサ生命保険と市民の健康増進についての取り組みを協働で進めるための連携協定を結んだ。

経済産業省は、従業員らの健康管理を経営的視点から考え戦略的

に実践する「健康経営」に基づいて、地域の健康課題に取り組み法人を顕彰する「健康経営優良法人」の認定制度を推進している。認定要件は、健康づくり担当者を置き、従業員の健康診断受診率を実質100%とすることや運動機会増進への取り組みなど。市内で20

20年度に認定を受けたのは3法人にとどまっている。

同社は、ほぼ全社員が「健康経営アドバイザー」の資格を取得している。市は協定を機に、セミナー開催などで市内企業の優良法人認定拡大や健康経営増進に努め、市も認定を目指すとしている。

協定書に署名する大塚市長（左）と隈元支社長

締結式で、大塚進弘市長は「健康への投資を続けることは地域の発展の柱」。同社の隈元正徹・福岡支社長は「従業員が心身とも健康であり続けることが企業発展に導く。微力ながら貢献したい」と話した。【武内靖広】

